

この度は、タカラトミー「トランスフォーマーレジェンズ LG56 パーセプター」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。

注意

●この商品は対象年齢 15 才以上です。小さなお子様には絶対に与えないでください。●付属の武器で人をつつく、たたく等の乱暴な遊びをしないでください。●ロボットの関節などに指をはさまないようご注意ください。●ぶつけたり、振り回すなどの乱暴な遊びをしないでください。●可動部のスキマには指などを入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。●尖っている部品があります。取り扱いには十分、注意してください。●プラスチック袋等を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。●思わぬ事故の恐れがありますので、ご使用後は 3 才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。●直射日光のあたる場所に置かないでください。レンズを使っているため、発火の危険があります。●レンズで太陽などの強い光源を絶対にのぞかないでください。目を痛める危険があります。

〈使用上の注意〉○ご使用前に、取扱説明書をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。○各パーツは無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。○本体を持ち運ぶ際は、取り付けた部品等を持たず、本体をしっかりと持ち運んでください。○製品の仕様上、変形の動作を行うと色が変わったり、彩色部が剥がれたりする場合があります。予めご了承ください。○部品を取り付けた際に取り付け部が白くなる場合があります。予めご了承ください。○包装材は開封後はすぐに捨ててください。

入っているもの

- パーセプター本体(顕微鏡)×1
- ヘッドマスター×1
- アムホーン×1
- 武器×1
- 取扱説明書(本書)×1

株式会社 タカラトミー

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10

タカラトミーでは「子どもたちに安全で楽しいおもちゃと夢を」を第一に考えております。そのため、常に製品に対し研究、改良を行っており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなど異なる場合もございます。製品につきましては、万全の注意を払って製造に当たっておりますが、万一お気付きの点がございましたら下記までご連絡ください。

タカラトミーグループ お客様相談室 おかけ間違いのないようご注意ください
製品の修理などについては下記お客様相談室までお問い合わせください

0570-041031

受付時間 10時～17時 月曜日～金曜日(土日・祝日を除く)

タカラトミーサポート 検索
http://www.takara-tomy.co.jp/support/index.html

●たのしいタカラトミーの情報はインターネットで <http://www.takara-tomy.co.jp> © TOMY

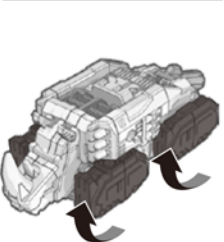
図を参考に变形させてください。
パッケージから出したら、尻尾を下ろし、
パーツの位置を整えて、
アムホーンビーストモードの完成です。



アムホーンビーストモード完成

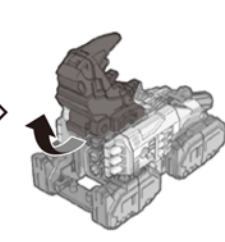
1

アムホーン戦車モードへの変形の仕方



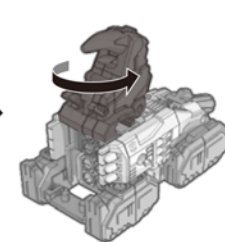
脚部を90°回転させます。

2



頭部を90°持ち上げます。

3



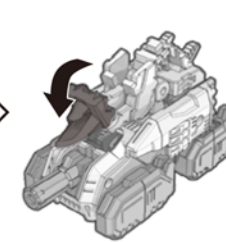
頭部を180°回転させます。

4



頭部を90°倒します。

5



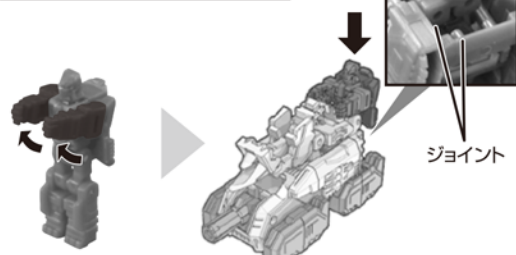
図のパーツを90°開きます。

図を参考に各部を調節してアムホーン戦車モードの完成です。



アムホーン戦車モード完成

アムホーン戦車モードへの搭乗

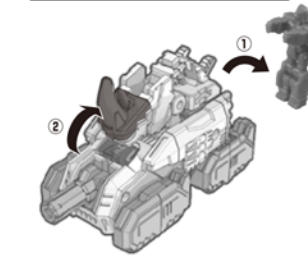


ヘッドマスターの腕を可動させます。

ヘッドマスターを搭乗させ、足底のジョイントで固定します。

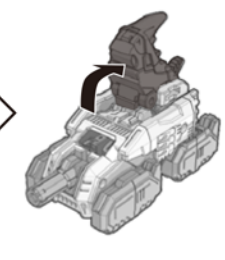
1

アムホーンウェポンモードへの変形の仕方



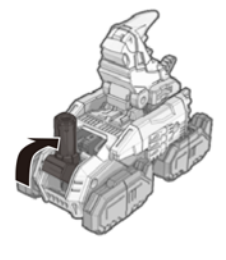
①ヘッドマスターを取り外します。
②図のパーツを90°起こします。

2



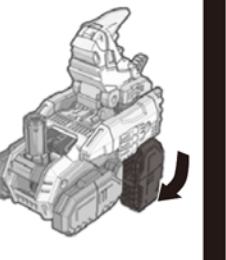
頭部を90°起こします。

3



砲身を90°起こします。

4



後ろ足部分のみ90°回転させます。

図を参考に各部を調節して、アムホーンウェポンモードの完成です。



アムホーンウェポンモード完成

図を参考に变形させてください。
パッケージから出したら、図のように
パーツの位置を整えて、
パーセプター顕微鏡モードの完成です。



パーセプター(顕微鏡モード)

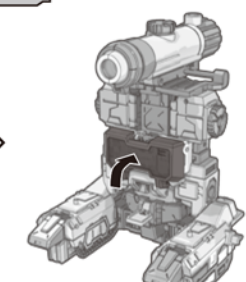
1

ロボットモードへの変形の仕方



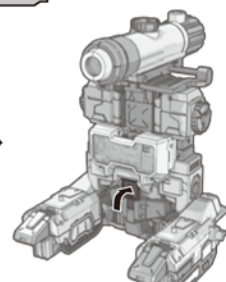
鏡筒部を90°起こします。

2



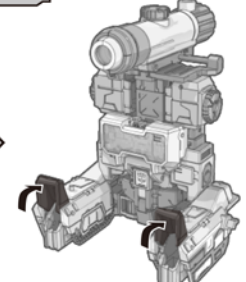
胸部のパーツを90°起こします。

3



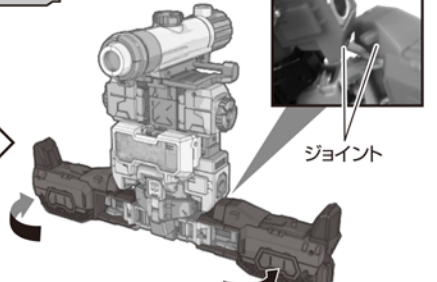
図のパーツを90°起こします。

4



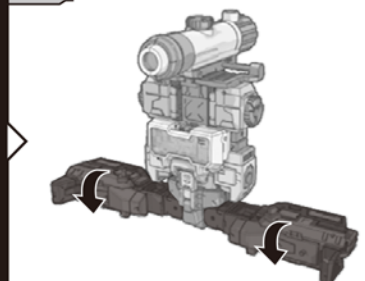
つま先部を90°起こします。

5



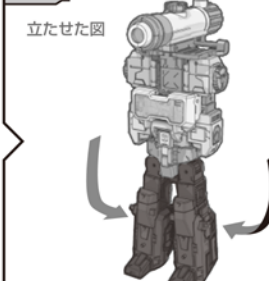
ジョイントを外し脚部を90°開きます。

6



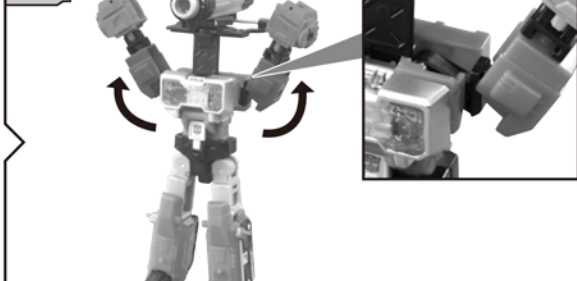
脚部を90°回転させます。

7



脚部を90°回転させ立たせます。

8



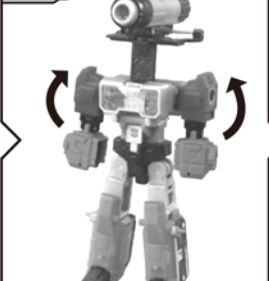
腕部を関節ごと図のように持ち上げます。

9



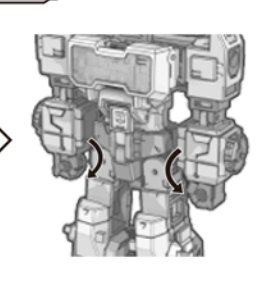
腕部を180°回転させます。

10



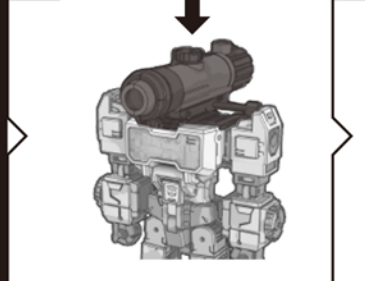
肩を図の位置へ上げます。

11



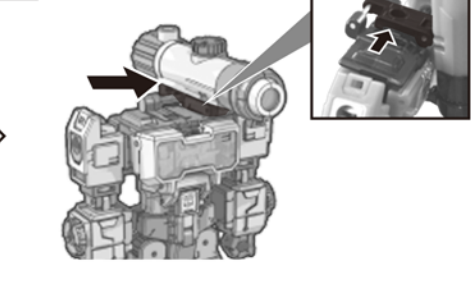
拳を出します。

12



図のパーツを下ろします。

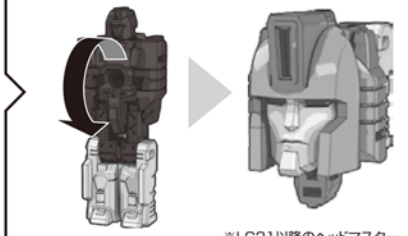
13



図のパーツを右にスライドし、鏡筒部をすらしめます。

14

ヘッドマスターの変形の仕方



上半身を倒します。

15



ヘッドマスター(頭部)を差し込みます。

図を参考に各部を調節して、ロボットモードの完成です。



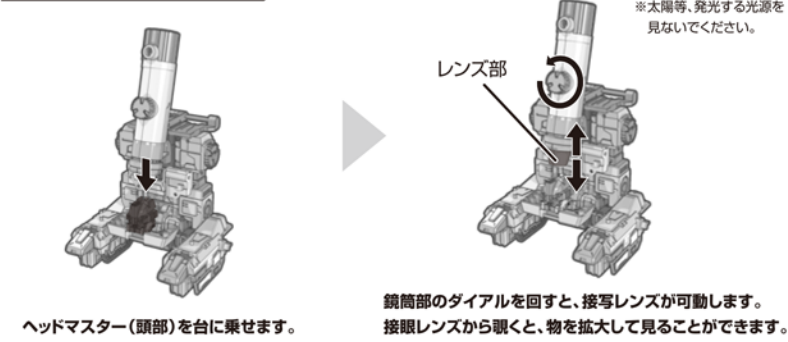
ロボットモード完成

ロボットモード背中への武器のセット



パーセプター(ロボットモード)の背中に、武器をセットすることができます。

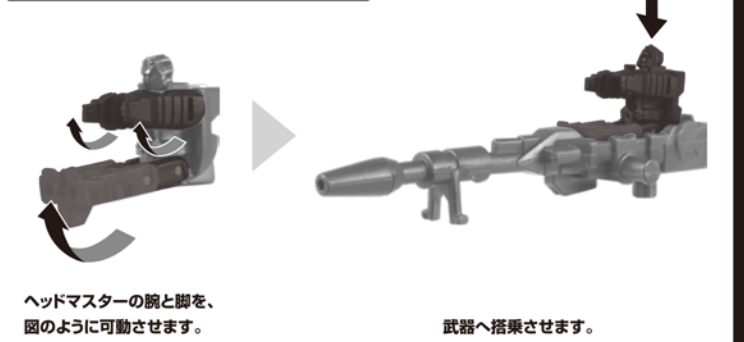
顕微鏡モードの遊び方



ヘッドマスター(頭部)を台に乗せます。

鏡筒部のダイヤルを回すと、接写レンズが可動します。接眼レンズから覗くと、物を拡大して見ることができます。

ヘッドマスターの武器への搭乗



ヘッドマスターの腕と脚を、図のように可動させます。

武器へ搭乗させます。